

福井工業大学

後援会会報

Fukui University of Technology 2024

2024年4月15日発行

福井工業大学
後援会

68

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号
電話 (0776) 29-7864
FAX (0776) 29-7891
E-mail koenkai@fukui-ut.ac.jp



特集 学位記授与式・入学式 [3・14P]

特集 工大サミットが開催されました [10・11P]

- ・後援会について [2p]
- ・地域とつながる学生たちの活動紹介 [4・5p]
- ・「宇宙」がもっと、近くなる。 [6・7p]
- ・クラブ活動 [8・9p]
- ・大学祭／募金活動ほか [12p]
- ・吉本興業との連携企画 [13p]
- ・学食促進イベント実施報告 [15p]
- ・海外インターンシップ [16p]
- ・キャリアセンター 就職支援課 [17・18p]
- ・医務室より／TOEIC開催報告 [19p]
- ・学内奨学金制度紹介 [20p]
- ・相談窓口／前期行事予定 [23p]

令和5年度 秋季保護者個別懇談会・就職セミナー報告 [21P]

後援会定期総会・保護者個別懇談会 開催のお知らせ [22P・裏表紙]

福井工業大学

後援会について

後援会の目的と事業について

目的

1. 大学運営に寄与すること
2. 学生の福利厚生増進に寄与すること
3. 会員相互の連絡・親睦を図ること

事業

1. 保護者懇談会事業
2. 学生活動支援事業
3. 広報・通信事業



後援会の事業について

事業1. 保護者懇談会事業

- (1) 地区懇談会(5～6月)

【開催地区】

県内外計3会場およびオンライン

(昨年実績)

【内 容】

- ① 教育・就職報告会
 - ② 保護者個別懇談会
- ※福井地区は保護者懇談会のみ

- (2) 就職セミナー(10月)

【開催地区】

福井会場

【内 容】

就職セミナー(外部講師)

- (3) 秋季保護者懇談会(10月)

※昨年度は、対面およびオンラインで実施

【開催地区】

福井(本学)

【内 容】

学生生活成績に関する個別相談

事業2. 学生活動支援事業

- (1) 課外活動支援
- (2) 大学祭の補助
- (3) 就職活動に対する補助
- (4) TOEIC受験料の半額補助
- (5) 本学主催の海外語学研修の一部補助
- (6) インフルエンザ予防接種料の一部補助
- (7) 学食利用促進の補助
- (8) 慶弔、災害時における見舞金の支給 等

事業3. 広報・通信事業

- (1) 後援会報の発刊(4月、9月)
- (2) ホームページの更新



福井工業大学後援会は、本学在学者の保護者で構成されています。大学の方針により、本学の発展に寄与するとともに、大学と学生及び家庭との連携を密にし、教育事業を援助することを目的としています。各事業は、後援会費により運営されています。

後援会役員を募集します

後援会役員は学年ごとに約10名程度、事業の運営に協力を頂いております。大学へ進学すると、保護者同士の情報共有する機会が少なく、子を心配に思う保護者様から「後援会役員になって良かった」との声を頂いております。後援会役員にご協力・ご興味のある方は、以下までご連絡ください。



福井工業大学後援会事務局(大学庶務IR課) ☎0776-29-7864



令和六年度 入学式

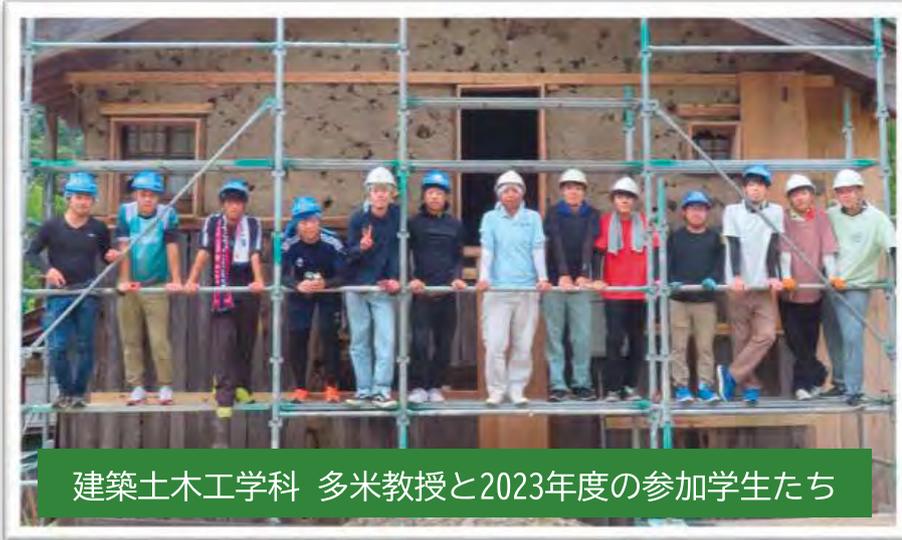
四月三日（水）、福井キャンパスの金井講堂にて令和六年度入学式を挙行了しました。学部学生四六七名、編入学生二名、大学院生十七名の合計四八六名が、本学で新たなスタートを切りました。

掛下学長は「学問を成就するためには、まず学問をやり抜く精神力を持つこと、次に健康に十分に注意して学問を続ける環境を整えること、そして最後に自分が志した分野の才能を生かすことです。この才能とは、その分野の学問を自分が好きかどうか、そして、自分で考え、工夫して勉強できるかどうかというもので天賦の才能ではなく、自分で作るものなのです。これから皆様が大学生活を楽しく送り、それぞれの学問を成就されることを心より願っております。」と式辞を述べました。

新入生を代表して、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の佐々木陽野さんが「建学の精神に則り、勉学に励み、学問の真理探究にまい進する」と宣誓しました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。



#2

小原ECOプロジェクト～18年目の夏
学生の古民家修復・景観整備活動～

建築土木工学科 多米教授と2023年度の参加学生たち



2023年度 修復前(上) 修復後(下)

本活動は石川県境の山間にある福井県勝山市北谷町小原集落で毎年実施しているものです。当集落は住人の諸事情や自然災害によって、現在はこれまでの修復家屋を含む13余戸の家屋が残るものの、住民は1戸1人という廃村の危機が迫った集落です。

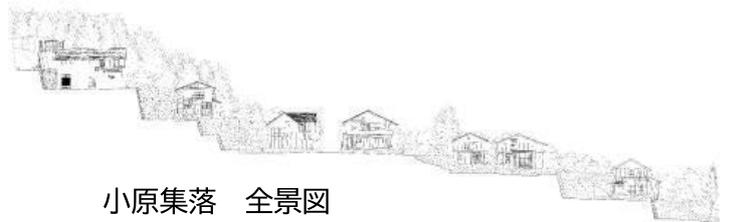
この小原集落の再生・活性化を目指し(旧)地元民と大工棟梁、福井工業大学工学部建築土木工学科の連携事業として2006年度に始まった小原ECOプロジェクトは2023年度で18年目を迎えました。これまでに8棟の民家修復と休憩所1棟の建設し、集落景観維持に寄与しています。

2023年度は、昨年度に北面外壁を修復したD家住宅の引き続きとして、同住宅の東面外壁の修復を実施しました。学生たちは壁下地打ちや壁板の張り付け、大工道具の使い方など体験し、大学での座学や実習だけでは得られない、施工の大変さ実感し、また合宿生活によるみんなで造る楽しさも味わっていました。

プロジェクトのこれまでの歩みより

- 受賞歴
 - 2015：第10回JTB交流文化賞 最優秀賞
 - 2016：ふるさとづくり大賞大賞 (内閣総理大臣賞)
 - 2017：第7回地域再生大賞 東海・北陸地区のブロック賞
 - 2017：福井元気ふるさとづくり活動賞最優秀賞
 - 2019：日本建築学会北陸支部 「北陸建築文化賞(業績)」
 - 2020：ディスカバー農山漁村(むら)の宝 第7回選定

- 昨年までの学生参加者数：延べ 261 名
- 修復した民家：全8棟(外観のみの修復も含む)



小原集落 全景図

センター所属研究室と学生の社会連携活動については、本センターの専用サイト(大学の公式サイト内)やインスタグラム(右のQRコード)で情報発信していますので、ぜひご覧ください。

専用WEB SITE >>>

<https://www.fukui-ut.ac.jp/comdesign/>



地域とつながる学生たちの活動紹介

#1

デザイン学科の学生が福井県 防災対応ピクトグラムを作成



17 パートナーシップで目標を達成しよう



ピクトグラムについて説明する酒井さん(左)

原子力災害対応ピクトグラム 一覧



ピクトグラムとは：グラフィック・シンボルの典型。意味するものの形状を使い、その意味概念を理解させる記号を意味します。

包括的連携協定を締結している「福井県」は、10月末に関西電力高浜原発事故を想定して参加機関約100機関、30㎞圏内の住民約650人以上が避難訓練に参加するという大規模な原子力総合防災訓練を開催。

この大規模な訓練の実施にあたり、「よりユニバーサルな避難情報伝達手段としてピクトグラムの作成が出来ないか。」との思いから包括的連携を締結している本学に制作の提案がありました。

「FUTまちづくりデザインセンター」所属の三寺潤教授(まちづくりデザインセンター長・防災まちづくり)、砂川武義教授(原子力防災)、近藤晶准教授(グラフィックデザイン)と同研究室4年の酒井梨世さんの4名が協力して制作することになりました。

地域に役立つものづくりに強い関心があっ

た酒井さんは、夏季休暇も返上して県とも繰り返し打合せを重ね、原子力防災特有の要素をデザインに落とし込むのに苦労しながらも、グリーンを基調とした8種類のピクトグラムを完成させました。

酒井さんは、実際にこのピクトグラムが避難所などでどのような印象を持って捉えられたかなど今回の訓練でも追跡調査を行い、卒業研究として取りまとめました。



今回のプロジェクトメンバーによるプレス向け説明会



FUT
まちづくりデザインセンター
FUT Community Design Center

まちづくりとデザインで人を育み新たな価値を創造する

- 1 自治体等との連携によるまちづくり・地域づくり
- 2 持続可能な未来と社会に必要なモノ・コトづくり
- 3 社会に還元する教育と人材育成



2 あわらキャンパス宇宙通信・宇宙観測地上局の一般公開



上) アンテナの見学 下) 地上局内の施設説明

令和5年10月21日（土）に本学電気電子情報工学科中城智之 教授（ふくいPHOENIXハイパープロジェクト）による「あわらキャンパス宇宙通信・宇宙観測地上局の一般公開」（FUT公開講座）を開催し地域住民の皆様にご参加いただきました。

本学あわらキャンパスには、口径13.5m・10m・3.9m・2.4mのパラボラアンテナ4基と人工衛星からの電波の送受信を行う衛星地上局を整備しています。JAXAと月軌道までの探査衛星の運用に関する共同研究、県内企業と地球周回衛星の運用に関する共同研究を締結し、衛星からの電波送受信、受信データの解析など、学生と教員が取り組んでいます。

今回の公開では、本学の宇宙への取り組みの紹介、地上局での人工衛星からの電波受信体験、パラボラアンテナ4基の見学会を行いました。

毎年、一般公開を実施する予定ですので、後援会会員（保護者）の皆様も是非ともご参加ください。

3 未来塾講演会 | 毛利衛氏が宇宙研究への夢を語る



毛利 衛氏（宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長）

本学では、平成15年度より「世界と日本の未来を考えよう」を主題に各界の有識者をお招きし、第一線で活躍された豊富な経験と知識をご講演いただく「未来塾」を開催しており、昨年度は9月30日（土）に毛利衛氏をお招きして「宇宙から見た地球生命のつながり」をテーマにご講演いただきました。

その中では、宇宙に興味を持ったきっかけや、宇宙空間での体験やISSでの実験エピソードなどを紹介され、日本人初の宇宙飛行士としての経験に基づいたお話に聴講者の皆さんは興味深く聴き入っていました。

福井工業大学未来塾講演会は、今後も皆様がより良い未来を創造するための講座を開催し続けたいと考えておりますので、保護者の皆さまも機会がございましたらぜひご参加ください。

プロジェクトに関わる教育・研究や地域と協働した様々な取組については、専用のウェブサイト（大学公式HP内）で情報発信中。プロジェクトの公式X（旧Twitter）も合わせてぜひ、フォローをお願いします。

専用WEB SITE >>>

<https://www.fukui-ut.ac.jp/phoenixhyper/>





ソラ 「宇宙」がもっと、近くなる。

1

大野市の星空保護区の取り組み その支援活動で会長賞を受賞



全国大会 会場の様子



大野市長より賞状を受ける掛下学長

大野市での星空保護への取り組みが「星空の街・あおぞらの街 全国協議会」から表彰を受けました。令和5年10月8日(日)・9日(月祝)の2日間に亘り、「星空の街・あおぞらの街」全国大会が大野市文化会館を会場に開催されました。

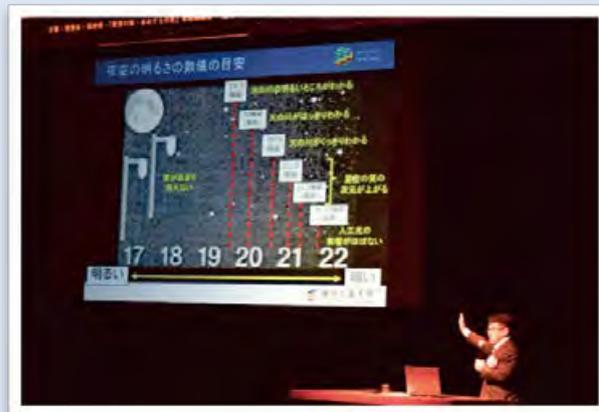
この大会は、大気環境の保全や環境を活かした地域活性化を目的に、1989年から各地で開催されており、35回目となる今大会は、環境省、福井県、星空の街・あおぞらの街全国協議会の主催で、主管は南六呂師エリア（大野市）が星空の世界遺産といわれる「星空保護区」の認定を受けた大野市です。

式典には、高円宮妃殿下のご臨席の下、滝沢求環境副大臣や杉本達治 福井県知事、市民ら約200人が出席し、盛大且つ厳かに執り行われました。

表彰式では、大野市の星空や青空の環境保全・啓発に尽力した3団体1個人が協議会から表彰を受け、本学の星空保護への取組（光害についての啓発活動、光害対策照明計画等の策定、夜空の明るさ調査、環境教育や地域と連携したイベントの実施などを通しての星空保護区認定への支援活動）が、「会長賞（団体賞）」を受賞しました。

記念講演では、掛下知行 学長と電気電子情報工学科の中城智之 教授が講演を行い、宇宙研究に注力する大学の最前線の取組や、大野市の星空環境の評価や光害についての教育啓発活動の実践など

について会場にお集まりの皆様を紹介しました。本学では、地域の問題解決や地域活性化等の様々な取組を行っています。今後ともこうした活動へのご理解・ご支援をよろしくお願いします。



記念講演 | 上) 掛下学長 下) 中城教授



「宇宙」事業推進のために地域と協働する
ふくいPHOENIXハイパープロジェクト

2023年に整備した本学の衛星地上局。この規模と性能を有する大学・民間では国内唯一です。この地上局を世界の宇宙開発および宇宙産業に貢献する人材育成の拠点となることを目指します。



常陸宮妃杯全日本女子
大学ゴルフ選手権にて
創部初日本一の快挙

女子ゴルフ部

令和5年11月8日(水)～10日(金)にかけて「常陸宮妃杯全日本女子大学ゴルフ選手権」が片山津ゴルフ倶楽部西コースにて開催されました。

福井工業大学は5名の登録選手が揃ったのは今年度からであり、創部初の日本一となりました。春に行われた全国女子大学対抗戦では、惜しくも優勝を逃し2位で終わった悔しさを晴らす結果となりました。

大会内容としては、競技は3日間の合計ストロークで争われます。初日、チームで8アンダーのスコアをたたき出し2位に19打差をつけるロケットスタートで首位にたちその差を最終日まで守り切り2位に11打差で優勝を飾ることができました。チームとして大崩れすることなくチームワークを発揮することができたことが勝因かと思います。

同時に行われた個人戦では稲葉千乃さん(1年)が優勝いたしました。

個人優勝 1年 稲葉千乃

チームとしても個人としても優勝できたことをとてもうれしく思います。日々の練習の成果が結果に結びついたことが自信になりました。これからも頑張っていきたいです。



3年 服部仁美

ゴルフ部の目標としていた全国団体日本一を達成することができて本当にうれしいです。日々の練習での成果とチームワークを発揮できたことで優勝ができました。次年度も連覇を目標に頑張っていきたいです。

FUT学生フォーミュラプロジェクト

令和5年度活動報告

私たちFUT学生フォーミュラプロジェクトは、フォーミュラカーを企画、設計、製作を行い、毎年、九月に開催される学生フォーミュラ日本大会2023に出場するため日々活動を行っています。令和5年度は、無事大会に出場することができました。満足のいく結果を出せず、悔しい思いとなりましたが、大会経験者や、車両を一から携わったメンバーがいなかったところから車両を完成できた事は、とても良い経験となりました。



令和6年度抱負

3年代表 森永 悠介

令和6年度は、令和5年度果たせなかった大会での「全種目・完遂・完走」を目指しています。そのために新たなエンジンを取り入れ、カウルの新規作成など新たな挑戦を始めています。保護者の皆様におかれましては、これからも応援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

Ene-1GP 電気自動車プロジェクト

令和5年度活動報告

私たちEne-1GP電気自動車プロジェクトは、乾電池40本を動力源としたレースカーを製作し、三重県鈴鹿市、栃木県茂木町で開催されるEne-1GPへの出場を目指しています。令和5年度は、カウル製作において、3Dプリンターを用いることで、大幅な工程の短縮に成功しました。大会結果は令和4年度リタイアであった鈴鹿大会にて完走、もてぎ大会では4大会連続の完走を記録しました。

(大会成績)

鈴鹿大会、47/100位(大学・高専部門 6/15位)

もてぎ大会、22/46位(大学・高専部門 5/12位)



令和6年度抱負

3年部長 後藤 滉也

令和5年度は先輩方たちが鈴鹿大会完走という一つの壁を乗り越え、「私も続いていかないと」と勇気づけられました。令和6年度は先輩方を超越る、大学・高専部門でのトップ3を目標に頑張りたいと思います。まだまだ未熟ではありますが、保護者の皆様のご期待に応えられるよう、精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

工大サミット

第6回

が開催されました



令和5年11月25日（土）、東北工業大学において、「第6回工大サミット」が開催されました。

第1部では、「防災・減災・復興に向けて工業大学ができること」と題して、学長及び学生によるプレゼンテーションが行われました。

初めに、「自治体・地域が抱える課題解決に向けてできること」と題して、本学からは、池田副学長が「工科系総合大学としての防災・減災・復興の取り組み」として、研究センター間の連携した取り組みについて具体例を交えながら、説明しました。

学生プレゼンテーションでは、工学部 建築土木工学科 4年 西川可純さん（宮本研究室）が「1948年福井大地震の教訓から学ぶ地震防災」と題して、福井震災の被害と地盤の関係の解明及び人工衛星データによる水害浸水域の評価について発表しました。

第2部では、3つのテーマに分かれ、ワークショップが実施されました。

テーマAは、理工系大学における教育の質保証と題して、3大学

による取り組み発表が行われ、本学からは、蔵田学長補佐が各大学における取り組みについてのディスカッションに参加しました。

テーマBは、工大サミットの大学間連携活性化策と題して、工大サミットの大学間連携を活性化するためには、どのような方法が考えられるか、各大学の教職員によるグループワークが実施されました。

テーマCは、理工系大学における防災・減災・復興人材育成と題して、第1部で発表のあった学生による詳細なプレゼンテーションが実施され、各大学の学長及び参加者とディスカッションが繰り広げられました。

また、2つの学生交流イベント（ROBO・ONMとe・スポーツ）が実施され、本学からもそれぞれのイベントに学生が参加しました。

どちらのイベントも初戦敗退となってしまいましたが、イベント終了後にも引き続き、学生間の交流が行われ、親睦を深めていました。近年、コロナ禍の影響で、このような学生交流イベントを実施することができなかったため、今回の工大サミットを通し、他大学



と交流を深めることができたのではないかと感じました。

サミットは、各大学の学長が意見交換し、工大サミットにおける「大学間災害時相互支援に関する規程」が制定されるなど、盛況のうち閉会しました。

令和6年度（第7回工大サミット）は、神奈川工科大学で開催予定です。



防災・減災・復興に 向けて工業大学が できること

工学部 建築土木工学科

4年 西川 可純

私は地震工学という観点から防災・減災についてプレゼンしましたが、他大学の学生は全く違う観点でプレゼンしていました。特に印象に残っているのは東北工大の内容で、東日本大震災を経験した被災者と被災していない者が、それぞれのよう震災に向き合うべきかというものでした。防災・減災というテーマでも様々な視点から考えを共有できるということが、大変勉強になりました。1月に発生した能登半島地震でも多くの犠牲者ができました。今回のサミットの経験を活かし、地震災害を多面的な視点で考える社会人になりたいと思います。

ROBO-ONE

工学部 機械工学科 2年 江村 公甫

工大サミットでのロボワンバトルは刺激的な経験でした。初戦の敗北からくやしさを感じつつも、他大学のオリジナルロボットに触れ、新たな技術への興味が湧きました。特に、愛知工業大学や神奈川工科大学などのクリエイティブなアプローチに感銘を受けました。その影響で、福井工業大学でもロボワン用のサークルを設立することを決意しました。これからは、新しいサークルで新入生たちと協力しながらオリジナルロボットの開発に挑戦し、技術の向上を目指したいと思います。次回のサミットでは、より充実した成果をみんなに見せられるように頑張ります。

工学部 電気電子工学科 3年 村西 晃徳

仙台で開催された工大サミットに学生交流イベントのeスポーツ代表として、学友会から3名が参加しました。イベントは、団体戦と個人戦があり、団体戦は、一回戦敗退。個人戦では、私は惜しくも初戦敗退しましたが、仲間が準々決勝まで進出し、足跡を残してくれました。

その後の懇親会では、大会中の淀んだ空気とは違い、和気あいあいと全国各地から集まった工大生の方と談笑しながらのゲーム大会で仲を深めることができました。

e-スポーツ

※学年は令和5年度の表記となっています



第60回 福井工業大学大学祭



令和5年10月7日(土)および8日(日)に第60回福井工業大学大学祭を開催しました。昨年度の大学祭は、第60回の記念と福井工業大学に訪れた方々が楽しい思い出を刻んで欲しいとの思いから「工刻」をテーマといたしました。

オープニングは吹奏楽の演奏とともに始まりました。大学キャンパス全体がイベント会場となっており、大学祭初日には、特設ステージで、ダンスイベント、早飲み競争、ビンゴ大会が行われ、ロビーステージは、eスポーツ選手権、クイズ大会が開催され、金井講堂では、生駒里奈トークショーが行われました。2日目には、軽音部MUSIC FESTIVALが催され、特設ステージでは、芸人によるライブ、キャラクターショー、早飲み競争、カラオケ大会などが行われました。

そのほか、学科イベント、クラブによる模擬店、若狭町物販、鯖江商工会議所の展示、保護者後援会によるシューティングゲームなどキャンパス内は、多くの方で賑わいました。

学生ロビーでは、電気電子情報工学科によるポスターセッションが行われ、大学の教育研究について触れることができたなど参加した市民の方からお声をいただきました。キャラクターショーもあり、小さなお子様から地元の方々まで、多数の方にご参加いただき、2日間の総来場者数は約3千人となりました。

グラウンドフィナーレでは、吹奏楽部による演奏が行われ、大学祭を盛大に締めくくりました。

「工刻」をテーマとして、福井工業大学を訪れた皆様の楽しい思い出が胸に刻まれることと思います。

ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

ハワイ・マウイ島火災被害への支援のための募金活動



令和5年10月13日、本学のボランティア・A・BBS (Big Brother & Sister) 同好会、外国人留学生と基盤教育機構の英語ネイティブ教員が福井駅前にてハワイ・マウイ島火災被害への支援金募金活動を行いました。

9月27日から10月31日までに受け付けたすべての寄付金163,383円を福井工業大学の協定校であるハワイ大学の災害窓口へ送金いたしました。

ハワイ州の歴史上最大となった火災被害者の方々へ、少しでも負担を軽減できたらと思います。

後援会報告

後援会では大学祭にシューティングゲームを出店しました。2日間で延べ745人のブースへの来場がありゲームを楽しんでいただきました。

2日間の総売り上げ74,500円は、備品レンタル・景品代を除いた全額を、大学祭実行委員会へ40,000円、ハワイ・マウイ島火災被害への支援のための募金へ3,939円寄付いたしました。協力頂いた役員の皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。



吉本興業との連携企画

吉本芸人と一緒に考案した体育祭の新競技を福井工業大学附属福井中学校の体育祭で披露しました。当日はミサイルマン西代さん、バンビーノさんの2組が参加し、体育祭を盛り上げてくれました。笑いを巻き起こす芸人の司会進行やトークに学生たちは圧倒されていました。

企画内容について

2023年4月から2週間に1度、吉本興業所属のお笑い芸人と体育教員を目指すスポーツ健康科学科の学生5人が新競技について「みんなで笑える&絶対ケガをしない事」をポイントに検討していました。中学生からも意見を募り、運動が苦手な生徒も活躍できるような新協議を考案し、実際に競技をデモ体験。その結果から内容や進め方を改善し、体育祭にて実行するという課題解決学習の流れで行いました。



「みんなで笑える」をテーマに完成した 競技の名称は「笑スポ！～みんなで笑える競技～」。



「知力」「体力」「運」という3つのゲームで構成し、チームで合計タイムを競います。「知力」はジェスチャーゲーム、「体力」は腕組みしながら大縄飛びと馬飛び、「運」は、グー・チョキ・パーを全身で表してじゃんけん。勝った人は普通に走ってゴール。あいこ負けは、後ろ向きに走るなど、スピードを妨げる条件を設けました。どのゲームにも、見ている人に動きや面白さが伝わる工夫をしました。

「みんなで笑える競技」を考えた 経験を糧に、教員を目指す

僕らが考えた新しい競技が、来年以降も続いてほしいという気持ちで頑張りました。教員免許を持っている芸人さんが、「君らはまだ先生ではないけれど、中学生から見たら大人で先生とほぼ同列だから、堂々とあいさつすることが大事だよ。そこで雰囲気をつかめれば、僕たち芸人みたいにできる」と言ってくださり、これは、自分では気づいていなかった大切なことだと思いました。普段接することのなかった中学校の生徒や先生とやり取りする中で、自分が想像していなかった出来事に臨機応変に対応することも、教員の仕事において重要なことだと実感しました。



スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
3年生

唯内 凜生さん

※学年は令和5年度の
表記となっています

体育祭の
様子は…



BSよしもと「ロングコートダディの
つるつるいっぱい学園」にて
放送しています！

ライブでの視聴はBS放送、または
PC・スマホでご覧いただけます。

令和五年度

学位記授与式を

挙行了しました

三月十五日（金）午前十時から、本学の金井講堂において令和五年度学位記授与式を挙行了しました。穏やかな気候のもと、大学院十八名、学部五四五名の計五六三名が本学の学び舎を巣立っていきました。

掛下学長は式辞の中で、本学が「宇宙×AI」をブランドの一つとして展開していることに触れ、宇宙飛行士である若田光一さんが宇宙ステーションの船長を務めた際に心がけていた「守りに入らない」と「思いやりを持つ」という言葉を挙げ、困難にはしなやかさで対応し、かつ、常に挑戦する意識をもってリーダーシップを發揮し、人と接する際には思いやりを抱いて接することの大切さを伝えました。そして自分の大きな夢を実現するよう日々研鑽して、本学の卒業生としてこれからの社会の発展に貢献してほしいとの言葉を修了生・卒業生へ送りました。

卒業生総代答辞では、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 久々湊健己さんが「スポーツ健康科学科で過ごした四年間で多くの出会いや、教育実習や卒業研究などの貴重な経験、財産となる知識を得ることができ、人生における宝物であると感じている。これらを活かし、今後待ち受ける課題を乗り越え、社会に貢献していく。」と決意を述べました。

本学での学び、教職員や友人との出会いを財産にし、社会で活躍されることを心よりお祈りいたします。ご卒業の皆様、保護者・ご家族の皆様、おめでとうございます。



R5年度 学食促進イベント 実施報告

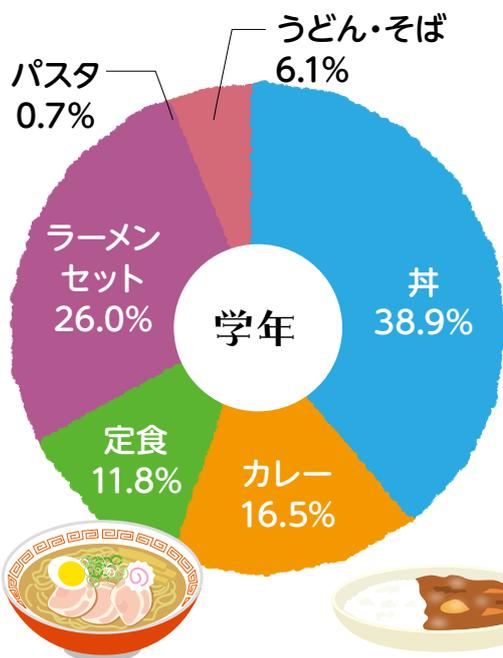
令和5年7月18日(月)から7月28日(金)、9月25日(月)から10月6日(金)、11月27日(月)から12月8日(金)の計3回の期間、学食促進イベントを実施しました。学部生全員に学園レストランで利用できる「ランチチケット」を配付し、3回合計で1,811名(アンケート回答者96名含む)が利用しました。

「ランチチケット」を利用した学生からは、今後もこのイベントを実施してほしいなどの意見をいただきました。

今後、このような補助活動を継続して実施していけるよう、実施時期やチケットの配付方法などの改善を行い、学生への支援を進めてまいります。会員の皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

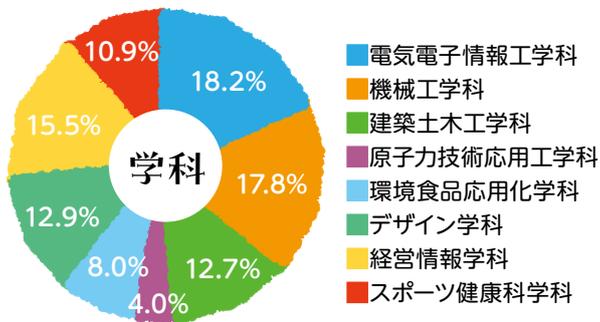


●ランチチケットの使い道

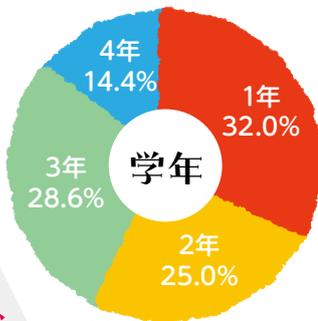


種類	利用者
丼	704
カレー	299
定食	214
ラーメンセット	470
パスタ	13
うどん・そば	111
合計	1811

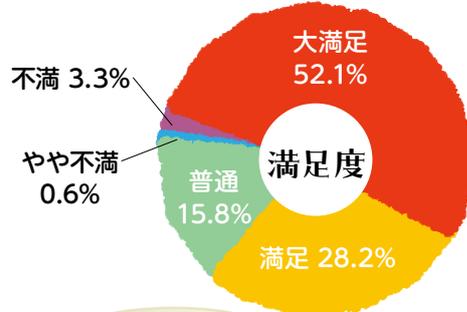
●学科別利用割合



●学年別利用割合



●満足度



後援会で取り上げてほしいイベントやご意見・ご要望などがあれば教えてください

【学食促進イベントに関する内容】

- 食べ放題盛り放題やって欲しいです
- もっと無料クーポンが欲しい
- メニューを増やしてください
- もっと値段下げてください
- ご飯おかわり無料にしてほしいです
- 味噌汁などの単品、スイーツ、おでん、定食のメニューを増やしてほしい



【後援会事業・大学に関する内容】

- 飲料水配布や自販機等より安価で販売してほしい
- 新メニューの開発案を生徒に募集したら面白いと思う
- 高校生のテスト期間中、学食が高校生で埋め尽くされていて昼ご飯を食べれないことがあるので、そこを改善してほしいです
- 学生ロビーなどもいっぱいなので、昼食を食べるところが中々ありません



OVERSEAS INTERNSHIP

例年、学部3年生を対象に実施している「**海外インターンシップ**」では、海外での生活経験・就業体験を積み、将来のグローバルなキャリア形成の動機を得ることができます！

令和6年度実施国



タイ

ベトナム



渡航前から現地研修期間中も大学がしっかりサポート！



「事前説明会」にて目的意識を明確化

参加希望者を対象に事前説明会（2年次後期）を実施。具体的なプログラム内容や研修で得られる成果を知り、海外インターンシップを経験した先輩たちから直接話を聞くこともできる機会を設けています。

「事前研修」で渡航までの準備を万全に

3年次4月より事前研修をスタート。現地研修に向けての心構えやリスク管理・安全対策など必要な知識を学びます。渡航に必要なビザ申請などの手続きも進めます。（写真：外務省による安全対策セミナー）



海外に拠点を持つ日本企業にて「現地研修」

3年次の夏季休暇を利用して現地での研修を実施。日本人駐在員の方々と同じ生活環境に身を置きながら、約2週間の就業体験を行います。研修期間中は、本学ASEAN事務所（バンコク）スタッフと日本から職員も渡航して、体調不良など緊急時のサポート体制を万全に整えています。



経験を振り返り、今後のキャリアへ！

「研修成果発表会」にて振り返り

すべての研修終了後、参加目的の達成度や現地研修での経験を振り返り、自身の学びや成長を言語化します。



海外への抵抗感や、働くことに対する不安が少し軽減されたと思う。就職先で海外に行くチャンスがあれば、進んで引き受けたいと思う。

自分が想像していたよりもはるかに都市化（ベトナム）しており、ネット環境など日本よりも優れている場面を見ることがあった。

異国の風習や価値観など、学ぶことが沢山できた。また、語学の重要性やフレンドリーさの重要性も学べたため、その力を身につけられるように頑張っていきたいと思った。

タイで大丈夫なら地元以外の場所でもやっていると、もう少し視野を広げて色々な企業を見たいと思った。

就活戦線の動向と 就職支援について



学科担当者による個別面談



各種イベント情報等の提供



各地区進路実績の掲示



各種就活関連の書籍紹介

キャリアセンターでは、常に変化する社会情勢や学生のニーズにアンテナを張りながら、学生へのキャリア支援・就職支援に取り組んでいます。

各企業では、コロナ禍からの業績回復や事業拡大に伴う人員拡充のため採用数を増やすケースも少なくありません。また今後見込まれる定年退職者の増加や労働市場の流動化に伴う離職者の増加に備えて人員を確保したいという企業も一定数ある一方で、企業の採用意欲はさらに高まることが予想されます。多くの企業が「インターンシップ等の実施・見直し」に注力しており、早期に学生との接点を持ちたいと考え、採用活動全体でも前倒しの意向が強い傾向にあると言えます。

学生も早期から意欲的に準備を開始する傾向があり、本学学生もこのような就活戦線に出遅れないように活動していくことが必要となります。キャリアセンターでは、2年次より

就職ガイダンスを実施しており、インターンシップ等や就職活動本番を見据え計画的に学生への支援を展開しております。どの学生も「いつ・何を・どのようにして」始めていけばよいか不安を感じてしましますが、後援会のご支援を賜り製作している「就活手帳」を存分に活用し、いつでもキャリアセンターを頼りにしていただければと存じます。

保護者の皆様におかれましては、ご子息・ご息女の就職活動を温かく見守り、時には社会人の先輩としてご助言いただき、学生の皆さん自身が進路選択をできるようサポートをお願い申し上げます。

キャリアセンター長 島田 茂

年間のガイダンス等予定

時 期	内 容
前期 4月～8月	就職ガイダンス① 「就職サイトの登録(マイナビ、リクナビ、就職支援ナビ)」
	就職ガイダンス② 「インターンシップに向けた仕事研究ポイント講座」 【ものづくり・IT・建築】分野・【営業系・事務系】分野
	就職ガイダンス③ 「インターンシップ選考対策講座」 【ものづくり・IT・建築】分野・【営業系・事務系】分野
	就職ガイダンス④ 「学園理事長から就活生に向けて」
	業界研究イベント 「工大学生限定！業界の枠を超えたネットではわからない“採用担当者のホンネ”」
	特別企画 「準備レベル別に講座を選べる！インターンシップ直前駆け込み寺」
	留学生ガイダンス1 「就活スタート講座」
	【2年生対象】 就職ガイダンス①
夏季休暇中	海外インターンシップ(3年生対象)
	企業見学バスツアー(1・2年生対象)
後期 9月～3月	就職ガイダンス⑤ 「自己分析 Web テストフォローアップガイダンス」
	就職ガイダンス⑥ 「秋冬インターンシップへ向けた後期スタートアップ講座」 【夏季インターンシップに参加した学生対象】・【後期からインターンシップに参加予定の学生対象】
	就職ガイダンス⑦ 「合同説明会の参加の仕方」
	留学生ガイダンス2 「履歴書対策講座」
	【2年生対象】 就職ガイダンス②
	特別企画 「準備レベル別に講座を選べる！秋の就活駆け込み寺」
	特別企画 「準備レベル別に講座を選べる！就活直前駆け込み寺」
	学内合同企業研究会 福井工大生を積極採用 400社以上の企業が参加
	就活用証明写真撮影会
	業界・職種研究会 【学科別 / 地域別など】
	キャリアリーダーズキャンプ(早期就活集中セミナー)3日間
企業研究バスツアー(1・2年生対象)	
随時実施	個別指導(学科別)(エントリーシート・履歴書添削、模擬面接)
	学内個別企業説明会(4年生対象)、仕事セミナー(3年生対象)
	「就職試験対策講座」

※社会情勢等によりスケジュールが変更になる場合があります。

医務室よりお知らせ



学内インフルエンザ予防接種を行いました。

福井工業大学では毎年大学構内でインフルエンザ予防接種を実施しています。

令和5年度は2日間実施し、260人の学生が予防接種を受けることができました。

予防接種料金は通常3,000円～4,000円かかりますが、学内で受けた場合、後援会より1,000円、学生健康保険組合より500円の助成があり、1,800円の自己負担のみで受けることができます。毎年、多くの学生がこの機会を利用し、自身の感染予防対策に努めています。毎年後援会から予防接種料金の助成を受けることができ、感謝しております。

今年度も状況を見ながら学内インフルエンザ予防接種を実施する予定です。日程等については9月頃FUTアプリ等でお知らせさせていただきます。

学校生活は集団生活を営む場であり、感染症が発生した場合感染の流行を引き起こす可能性があります。毎日の体調観察、手洗い等の手指衛生の励行等、基本的な感染予防対策の継続をお願いします。また、体調不良時はマスクを着用し、発熱等風邪様症状がみられる場合は登学を控え、医療機関に電話で受診を相談してください。

医療機関を受診された場合、医療費給付申請によって学生健康保険組合より保険診療でお支払いした医療費の6割が給付されます。申請方法がわからない場合は医務室までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザに罹患した場合は学務課までご連絡ください。

医務室：0776-29-2629



TOEIC® Listening & Reading 学内テスト開催報告

本学では学内でのTOEIC L&Rテストを実施しています。

学内受験のメリットは、普段通うキャンパス内で受験ができることや団体受験による特別料金にて受験可能なこと、後援会からの受験料一部補助により、外部受験より安く受験ができることが挙げられます。

本学では、TOEICの成績が一定の基準を満たすと英語科目の単位が認定されたり、学内特別奨励金を受けることができるなどの制度があります。

最近では、多くの企業が語学力を求めており、自身の英語力を認識し、英語力を伸ばすことは大変重要です。

ご息へぜひ受験を勧めてみてはいかがでしょうか。

令和6年度 開催予定日

5月18日(土)・7月6日(土)

開催日時等の詳細については、英語の講義時、または学生サイト「manaba」にて学生へご案内いたします。

【令和5年度実施概要】

年間延べ319名

	実施日	受験者
第1回	5月27日(土)	76名
第2回	7月8日(土)	66名
第3回	10月28日(土)	73名
第4回	12月9日(土)	104名

令和5年度 学内特別奨励金受給者

- ・150,000円 4名 (TOEICスコア900点以上)
- ・80,000円 1名 (TOEICスコア800点以上)
- ・40,000円 3名 (TOEICスコア700点以上)
- ・8,000円 3名 (TOEICスコア600点以上)
- ・5,000円 3名 (TOEICスコア500点以上)

受験料

- ・学外で受験をする場合 7,810円
- ・学内で団体受験をする場合 **1,100円**

実際は3,130円であるが、後援会から2,000円の補助などを受けているため

学内奨学金制度紹介

特待生奨学金

学納金50%減免

対象：学部2年次以上または大学院博士前期課程
条件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)

学習奨励金

5万円給付

対象：学部2年次以上(大学院は対象外)
条件：前学期の成績 GPA 評価3.80以上かつ前学期の修得単位数が15単位以上
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)

育英奨学金

学納金30~70万円減免

対象：学部2年次以上、大学院全学年及び家計急変者
条件：保護者の前年度年収が400万円以下かつ前学期末までの成績 GPA 評価2.70以上または、家計急変事由が発生した場合
募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
家計急変については随時申請(※該当年度のみ適用)

スポーツ特待生奨学金

大会成績等により学納金又は授業料減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：スポーツ実績評価型選抜による入学予定者または在學生
条件：本学の規程による

災害特別奨学金

学納金等減免又は災害援助金支給

対象：入学予定者または在學生
条件：被害状況による
募集期間：随時(ただし、被災日より1年以内)

外国留学奨励奨学金

学納金の半額を上限に、渡航費、生活補助費または、留学先の学費の一部補助

対象：学部2年次以上及び大学院全学年
条件：交換留学生または認定留学生として認められた者

大学院進学奨励奨学金

(第1種) 学納金50%減免

(第2種) 国立大学大学院授業料標準額と 本学学納金との差額を減免

※最大2年または3年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者
条件：本学の規程による

離島・沖縄県出身者支援奨学金

学納金50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：当該地域からの入学予定者
条件：保護者が当該地域に居住かつその地域において収入を得ていること

特別奨励金

奨励金支給

対象：在學生
条件：取得した資格、修めた大会成績による
募集期間：随時

推薦選抜奨学金

授業料50%減免

※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：本学が指定する入試区分で受験した志願者(一部入試区分では希望者のみ)
条件：基礎学力検査の合計点が100点満点中80点以上の得点者

一般選抜奨学金

(一種) 入学金全額免除および授業料全額免除 (二種) 入学金全額免除および学納金50%減免 ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り

対象：一般選抜 A 方式 I 期及び大学入学共通テスト利用選抜 I 期の志願者
条件：入学試験の合計点が一定の基準を満たしている者のうち成績上位者

高大連携協定校特別奨学金

入学金減免

対象：高大連携協定校に在籍している生徒で、指定校推薦選抜の入試区分にて出願する者
条件：高大連携協定校特別奨学金採用基準を満たしている者

注目! 在學生にご兄弟・ご姉妹がいる
保護者様へ

兄弟学費減免奨学金

学納金50%減免 ※修学支援を除く ※申請年度のみ適用

対象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在學している場合、希望する1名に対して減免
条件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在學していること
募集期間：年1回(4月)

修学支援法に基づく奨学金との併用については別途お問い合わせください。

奨学金についての問い合わせ：学務課 / ☎0776-29-7867

令和5年度

福井工業大学後援会

秋季保護者個別懇談会&就職セミナー 開催報告

秋季保護者個別懇談会

令和5年10月21日午後、福井キャンパスにおいて、秋季保護者個別面談を対面とオンラインで開催し48組が参加しました。担当教員から学業面や学生生活面について現状をお伝えするとともに、今後の進路についても相談に応じていました。

参加いただきました保護者からは、学生生活や就職活動について、担当教員と詳しく話すことができ、安心できたとお話をいただきました。

アンケートに記入いただきました貴重なご意見は、今後の活動に役立てて参りたいと思いますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



就職セミナー

本学後援会が主催する保護者向け就職セミナーを10月21日午前に開催し20名が参加しました。花王株式会社より「花王啓発講座 就活応援！ Kao 好印象身だしなみセミナー」と題して、実際の企業における学生採用の流れや面接官が着目するポイントを説明のうえ、就職活動に適した身だしなみを専門的な視点から講演頂きました。その後、キャリアセンター職員より保護者に対し、本学におけるキャリア支援について説明を行いました。

アンケートからは、とても参考になり満足したとの意見を多くの保護者から頂きました。

今後も後援会の皆様に満足するような充実した内容の企画をして参りますので、奮ってご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。



令和6年度

福井工業大学 後援会定期総会 開催のお知らせ



後援会は在学生の保護者の皆様によって運営されております。

当日は、事業計画や後援会の方針の説明のみならず、大学の教育方針や支援の紹介を致します。

また、担当教員との個別面談の実施を予定しております。この機会に、学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

5/18_土 13:00 ~ 福井キャンパス

日 程

13:00 ~

後援会定期総会

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

(1) 令和5年度事業報告	(2) 令和5年度収支決算報告
(3) 令和6年度事業計画(案)	(4) 令和6年度収支予算計画(案)
(5) 令和6年度役員改選	(6) その他
4. 閉会

14:00 ~

福井地区保護者個別懇談会

事前申込制 (申込方法は裏面をご確認ください)

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。

ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

	問い合わせ先	メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務 IR 課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学び(教務関係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (図書館)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
暮らし(学生生活関係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2629 (医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進路(大学院進学関係)	0776-29-7871 (入試広報課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進路(就職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834 (社会連携推進課)	futcrc@fukui-ut.ac.jp
センター管理課	0776-29-2671	center@fukui-ut.ac.jp
情報メディアセンター	0776-29-7873 (情報メディア課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出納(学費納入関係)	0776-29-2821 (経営企画課)	
あわらキャンパス	0776-79-0111	
インターナショナルセンター	0776-29-2786 (学務課)	international@fukui-ut.ac.jp

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

前期行事予定

月	日	行 事	月	日	行 事
4月	3日(水)	入学式	8月	7日(水)~ 9月16日(月)	夏季休業
	4日(木)~ 9日(火)	前期受講登録ガイダンス (2年~4年) 全体オリエンテーション(1年) 学科別ガイダンス(1年) 前期受講登録ガイダンス(1年)		9月	17日(火)~ 20日(金)
	10日(水)	前期授業開始	10月	12日(土)~ 13日(日)	大学祭

※上記日程は変更となる場合があります。

令和6年度

福井工業大学

保護者個別懇談会開催のお知らせ

教職員との親睦・交流の場として、保護者個別懇談会を開催いたします。

学修状況、就職、学生生活等についてお気軽にご相談ください。

多数のご出席をお待ちしております。

開催一覧

開催地区	期 日	会 場
福井地区（対面）	令和6年 5月18日（土）	福井工業大学 福井キャンパス
オンライン	令和6年 6月1日（土）	福井キャンパスにいる教員と保護者様のご自宅等とオンラインでつないで面談を行います
石川地区（対面）	令和6年 6月8日（土）	金沢商工会議所
富山地区（対面）	令和6年 6月22日（土）	パレプラン高志会館

日 程

● 5月18日（土）

14:00～

・個別懇談（対面）

● 6月1日（土）

※詳細については後日 HP でお知らせします。

● 6月8日（土）・6月22日（土）共通

10:00～12:00

・本学の紹介

・保護者のための就職支援講座

13:00～16:00

・個別懇談（対面）



お申し込み方法

1. WEBでのお申込み

福井工業大学後援会 <https://www.fukui-ut.ac.jp/koenkai/> から保護者懇談会（お申込み）のページへアクセスし、必要事項を入力し、お申込みください。

2. メールでのお申込み

下記へメールいただき、以下の情報をお知らせください。

- ① 学生氏名、② 学科、③ 学年、④ 保護者氏名、⑤ 保護者電話番号、
- ⑥ 保護者メールアドレス、⑦ 希望日、⑧ ご質問等

なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。後日、面談の時間をご連絡いたします。